

令和 8 年度「韓哲・まちづくり夢基金」 運用益等活用事業（案）

令和8年度「韓哲・まちづくり夢基金」運用益等活用事業（案）

資料3

No	事業名	分野	担当部署	予算額 (基金充当予定額)	継続・新規
1	グローバル人材育成事業	教育	教育委員会 学校教育課	37,942千円 (28,199千円)	継続 ※5年目
2	プログラミング教育推進事業	教育	教育委員会 学校教育課	1,806千円 (905千円)	継続 ※3年目
3	いじめ・不登校防止対策等総合推進事業	教育	教育委員会 学校教育課	6,257千円 (3,129千円)	継続 ※2年目
4	メタバース教育支援センター設置事業	教育	教育委員会 学校教育課	990千円 (495千円)	新規
5	韓哲・まちづくり夢基金事業補助金	その他	市長公室 政策企画課	20,000千円 (20,000千円)	継続 ※9年目
6	未来創生まち創り人材育成事業	人材育成	市長公室 政策企画課	28,185千円 (4,700千円)	新規
7	高等学校全国募集入学生応援事業	教育	教育委員会 教育総務課	3,060千円 (3,060千円)	継続 ※6年目
8	大学等受験料支援事業	教育	教育委員会 教育総務課	795千円 (795千円)	継続 ※3年目

令和8年度「韓哲・まちづくり夢基金」運用益等活用事業（案）

資料3

No	事業名	分野	担当部署	予算額 (基金充当予定額)	継続・新規
9	国際大会・全国大会出場者への激励金	スポーツ文化	教育委員会 生涯学習課	998千円 (998千円)	継続 ※2年目
10	京丹後市文化芸術振興計画及び文化庁移転に伴う文化芸術推進事業	文化	教育委員会 生涯学習課	3,210千円 (3,210千円)	継続 ※5年目
11	地域公民館管理運営事業	社会教育	教育委員会 生涯学習課	3,107千円 (1,253千円)	継続 ※2年目
12	社会体育団体育成事業	スポーツ	教育委員会 生涯学習課	3,434千円 (3,434千円)	継続 ※2年目
13	青少年教育事業	社会教育	教育委員会 生涯学習課	1,219千円 (1,219千円)	継続 ※2年目
14	第6回京丹後市民陸上記録会	スポーツ	教育委員会 生涯学習課	300千円 (238千円)	継続 ※6年目
15	青少年スポーツイベント	スポーツ	教育委員会 生涯学習課	1,114千円 (1,114千円)	新規
16	男女共同参画啓発事業	教育	市民環境部 市民課	301千円 (150千円)	新規

令和8年度「韓哲・まちづくり夢基金」運用益等活用事業（案）

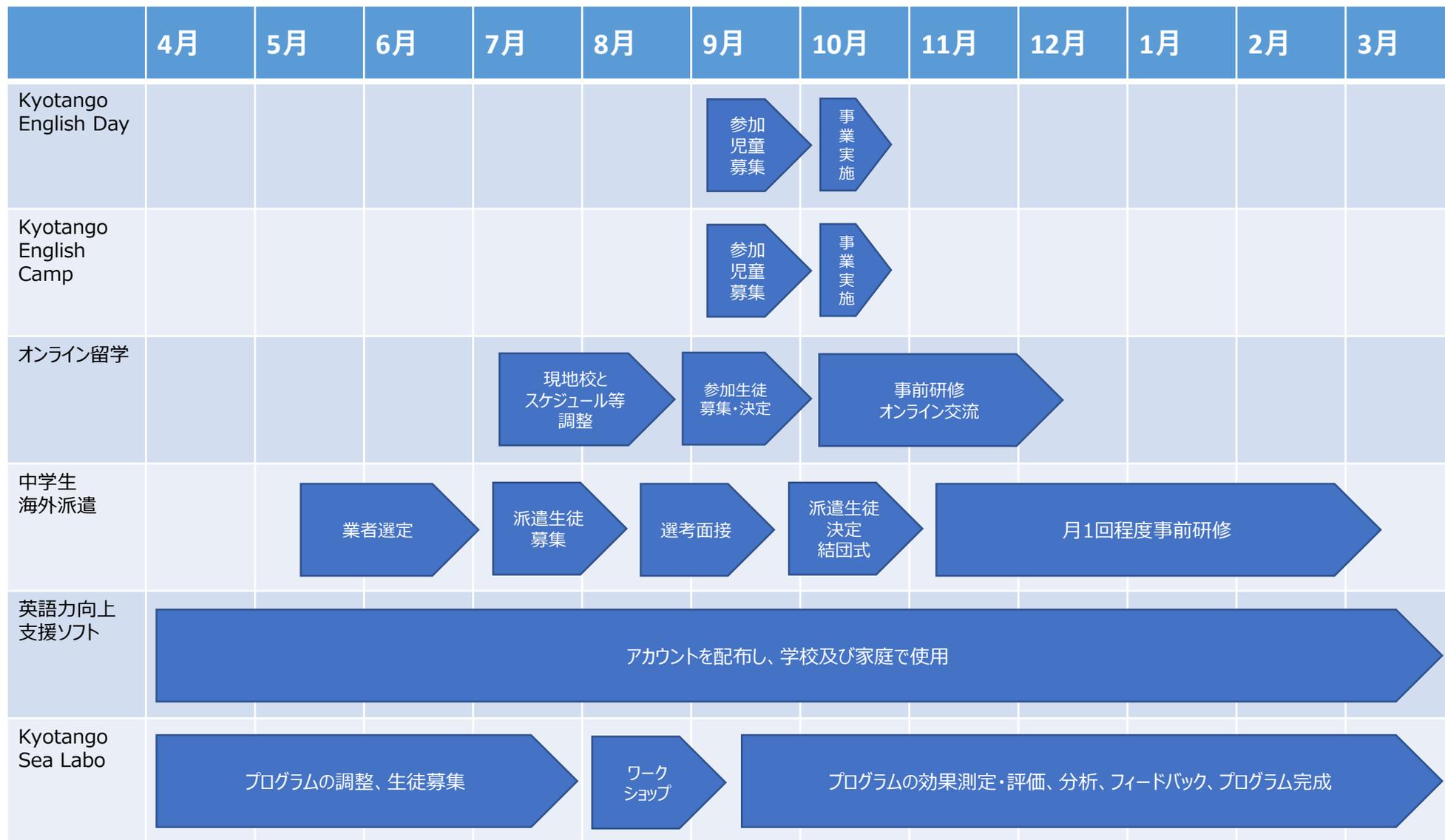
資料3

No	事業名	分野	担当部署	予算額 (基金充当予定額)	継続・新規
17	こどもの居場所・あそび場づくり推進事業	教育・ 人材育 成	こども部 こども未来課	25,436千円 (11,288千円)	新規
合計				138,154千円 (84,187千円)	

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 学校教育課	令和8年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	37,942千円 (28,199千円)
目的	国際感覚を持ち将来グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、児童生徒を対象に諸外国への興味関心を深め文化や伝統を理解する機会を創設し外国語教育の充実を図るとともに、産学連携のもと新たな可能性を創造するSTEAM教育の推進を図る。				
事業概要・主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ○Kyotango English Day【対象:小学3・4年生】 31千円 (充: 31千円) CIR・ALTとの英語による交流会 (消耗品費、通信運搬費) 定員: 40人 ○Kyotango English Camp【対象:小学5・6年生】 520千円 (充: 380千円) CIR・ALTとの交流会 (通信運搬費、施設使用料等) 1泊2日で開催 定員: 20人 ○オンライン留学【対象:中学1年生】 15千円 (充: 15千円) 外国とのオンライン交流を開催。別途研修会を5回程度実施 (通信運搬費) ○中学生の海外派遣【対象:中学2年生】 12,937千円 (6,470千円) 海外へ派遣し、一般家庭での生活体験や現地の学校で、学校生活を体験 派遣先: オーストラリア パース 期間: 9日間 人数: 20人 渡航費用の3/4、7/8 (就学援助世帯) を補助金交付 (補助金、旅行手配負担金等) ※R7年度は一律3/4補助 ○英語力向上支援ソフト【対象:小学5年～中学3年生】 22,179千円 (19,043千円) 1人1台端末においてAIによる英語力向上支援ソフトの活用 英語の「聞く」「話す」力を伸ばすとともに英語でのやりとりに自信をもてる生徒を育成 (ライセンス使用料等) ○「Kyotango Sea Labo」開催【対象:中学3年生、高校2年生】2,260千円 (2,260千円) 本市の産業等の特色を活かしつつ、丹後学、デザイン思考、STEAM教育の要素を融合させたプログラム (5日間のワークショップ) を実施 (報償金、旅費、委託料) 			<p style="text-align: center;">地域を起点に世界ともつながりながら、 課題を解決する力 育てたい3つの資質</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>問題解決能力</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>コミュニケーションツールとしての 英語運用能力</p>  </div> </div> <p style="text-align: center;">多様な他者と協働する力</p> <p>問題解決能力</p> <p>コミュニケーションツールとしての 英語運用能力</p> <p>多様な他者と協働する力</p> <p>事業スケジュール</p> <p>別紙のとおり</p>	

No1 グローバル人材育成事業

事業スケジュール



分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 学校教育課	令和8年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	1,806千円 (905千円)
----	----	------	-------------------	---------------------------	--------------------

目的 中学校技術科の授業について、高度な専門性を有した専門人材に遠隔地から実施していただき、またプログラミング教材の導入により、より充実した学びを児童生徒に届けることを目的とする。

事業概要・主な経費

○遠隔教育 672千円 (充・337千円)
技術科の専科教員が配置されていない中学校（2校同時配信）において、遠隔地から専門性の高い講師による授業を実施することで、より充実した学びを児童生徒に届ける。
技術科の授業において、解決できる問題を見つけ、その問題を解決するための情報収集を行ったり、具体的システムのプログラムを制作することで、これからの時代に必要な探究的な学びを身に付ける。
あわせて、今後の府内（全国）展開に向けた検討を行う。
主な経費：講師1名の報酬及び費用弁償
アドバイザー1名の謝金及び費用弁償

○プログラミング教材使用 1,135千円 (充・568千円)
令和7年度大学入学共通テストから出題科目となった「情報Ⅰ」で求められる力を育成するため、また教員の働き方改革（教材研究の時間削減）のため、また、技術科の教員配置がなく他教科の本務者が授業を行っている中学校においても質の高いプログラミング教育を行うため、プログラミング教材を導入する。

対象：全中学校1～3年生
主な経費：ソフトウェア使用料

○遠隔教育

○プログラミング教材導入

- ・HPを「つくるよこび」を実感しながらプログラミングを学べる
- ・個別最適な学習
- ・進捗の可視化

事業スケジュール

○遠隔教育
令和8年4月～令和9年3月：遠隔授業実施
※技術科「計測・制御のプログラミングによる問題解決」等（計18時間）
府内（全国）展開に向けた検討を年間7回程度実施

○プログラミング教材
令和7年4月導入、「計測・制御のプログラミングによる問題解決」の時間で活用

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 学校教育課	令和7年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	6,257千円 (3,129千円)
目的	近年増加している児童生徒の不登校やいじめの防止対策のひとつとして1人1台端末の匿名相談アプリにて悩み相談に応じるもの				
事業概要・主な経費	<p>○匿名相談アプリ「STANDBY」の導入 1,013千円 (充・507千円) 対象：市内小中学校の全児童生徒および保護者 (希望者) 主な経費：匿名相談アプリ使用料</p> <p>○SOSの出し方教室に係る出張授業委託料 206千円 (充・103千円) いじめに限らず、不登校をはじめ、学校や家庭でのさまざまなストレスや、不安などを一人で抱え込むことなく、大人や周りの友達に相談することの重要性を授業の中で体験してもらう。 また、近くの人に相談しにくい場合には匿名アプリを使って相談できることを伝え、対面での相談がしにくい子どもの声を拾えるようにする。 対象：市内小中学校の全児童生徒 主な経費：講師2名の報酬及び費用弁償</p> <p>○SNS相談業務委託料 5,040千円 (充・2,520千円) 令和7年度においても、各小中学校での出張授業を行い、匿名相談アプリSTANDBYを実施したところ、10月末までの半年間で504件の相談が寄せられた。(うち、いじめの相談は75件程度)。令和8年度は相談の対象を希望する保護者まで拡大し、丁寧な相談対応を行うため、専門のカウンセリングセンターへ相談業務を委託するもの(夏休み期間を除く)。 学校教育課は毎日の相談内容を確認し、いじめが起こっていると危惧される場合は、本人や保護者の同意のもと、学校との連携を図り、早期の解決を目指す。なお、夏休み期間は相談件数が少ない(20件)ため、学校教育課の職員が相談対応にあたる。 対象：市内小中学校の全児童生徒および保護者 (希望者) 相談時間：平日の16時～21時 主な経費：相談に係る人件費</p>			<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>被害者も傍観者も、 SOSの出し方を考える</p> <p>SOSの出し方教育</p>  <p>専任講師が 現地もしくはオンラインで 授業を実施</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>匿名でSOSを出せる、 解決してくれる人とつながる</p> <p>STANDBY (スタイドバイ)</p>  <p>個人の端末だけでなく、 学校で配布される一人一台 端末を活用し、 すべての子どもがSOSをどこでも 出せる環境をつくる</p> </div> </div>	
	事業スケジュール	<p>○匿名相談アプリ「STANDBY」の導入 令和8年4月～令和9年3月</p> <p>○SOSの出し方教室に係る出張授業委託料 令和8年6月頃：対面での授業をクラスや学年ごとに実施</p> <p>○SNS相談業務委託料 令和8年4月～令和9年3月(夏休みを除く)を委託 ※いじめ発生等、緊急性の高い相談がある際には委託先より報告を受け、いじめなどへの迅速な対応を行う。</p>			

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 学校教育課	令和7年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	990千円 (495千円)	
目的	校内フリースクールや教育支援センター等にも通いにくい児童生徒が学べる場所をメタバース空間に作り、委託の専門業者が児童生徒の学習支援等を行うことで社会的自立をサポートするもの					
事業概要・主な経費	<p>○メタバース空間利用料（学習支援等を含む） 対象：市内小中学校の全児童生徒（希望者10名を想定） 開校日：週3日 9時～15時の間の3時間 期間：令和8年6月1日～令和9年3月31日 （夏季休業期間を除く） 取組内容：学習支援において学びの興味関心を引き出すための働きかけ、自己肯定感を醸成するための各種プログラム 主な経費：一人当たり月額10,000円×9か月×10人+税=990,000円 その他：京都市内の各市町村と共同利用型のメタバースの活用を予定</p>			<h3>「オンラインの居場所」のイメージ</h3> <p>コンピューター上の仮想空間で授業 匿名・カメラオフで参加可能</p>  <p>チャットで交流</p>		
	事業スケジュール	<p>○メタバース空間による支援についての周知 令和8年4月より各小中学校の保護者宛てに周知</p> <p>○メタバース空間での支援 令和8年6月1日～適宜実施する</p> <p>○共同利用の各市町との交流 適宜実施</p>				

分野	その他	担当部署	市長公室 政策企画課	令和8年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	20,000千円 (20,000千円)
----	-----	------	---------------	---------------------------	------------------------

目的 韓哲・まちづくり夢基金を活用し、本市の教育、文化、芸術又はスポーツの振興、地域経済活性化のための新産業の興隆その他のまちづくりに繋がる人材育成、顕彰等を行う者に対して、企画公募型の補助金を交付して支援し、市民等の夢の実現を後押しする。

事業概要・主な経費

【補助対象者】
京丹後市内に住所又は主たる事務所若しくは事業所を有する、個人（未成年の場合は保護者）、団体、法人等

【募集する事業】
応募は1個人又は1団体等につき1提案。事業内容は、「京丹後市韓哲・まちづくり夢基金条例」に規定する、本市の教育、文化、芸術又はスポーツの振興、地域経済活性化のための新産業の興隆その他のまちづくりにつながる人材育成、顕彰等に係る事業であること。
本市の他の補助制度の対象となる事業（京丹後市スポーツ・文化活動等大会出場激励金 等）については補助対象外とする。

【補助金額、補助率等】
補助率 2 / 3 以内（上限 1 0 0 万円）
※ただし、教育、文化、芸術又はスポーツの振興に関する分野かつ営利を目的としない事業は、補助率 1 0 / 1 0 以内。

【審査】
「京丹後市韓哲・まちづくり夢基金運用委員会」において審査を行う（提出書類及び応募者によるプレゼンテーションに基づく審査）。

【決定】
上記審査結果をもとに、市長が補助金交付の内定（又は不内定）を決定。予算額を超える申請があったときは、「子どもが自主的又は主体的に関わる事業を優先する。それ以外は委員会で審査された点数順とする。その後、内定者は補助金交付申請書を提出する。



韓さんのご子息・哲さんのゆめが刻まれた石碑（峰山総合公園内）

事業スケジュール

- ・4月上旬～5月上旬：公募
- ・5月下旬：委員会審査、内定決定
- ・6月中旬：交付申請書提出
- ・6月下旬：交付決定
- ・6月下旬～：事業実施

分野	人材育成	担当部署	市長公室 政策企画課	令和8年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	28,185千円 (4,700千円)	
目的	<p>高校生を中心とした若者のチャレンジを応援する未来チャレンジ交流センター「roots」を拠点に、市内出身の大学生など京丹後市の地方創生事業に関心のある全国の若者が自由に参加できるプログラムを新たに開発し、運営することにより、高校卒業後も市内出身者との関わり、関係性を維持することができると同時に、UIターン及び若者の起業や就業など人材確保につなげる。</p>					
事業概要・主な経費	<p>○未来チャレンジ交流センター「roots」(事業費：23,992千円) 高校生や若者が、地域の方や大学生と交流しながら未来のまちづくりへのチャレンジに取り組む拠点として、京丹後市未来チャレンジ交流センターを運営する。</p> <p>→未来創生まち創り人材育成業務委託料 9,933千円 会計年度職員報酬(3人) 5,940千円 家屋借上料 1,992千円 ほか</p>			 <p>相談員と話す高校生 (未来チャレンジ交流センター「roots」)</p>		 <p>地域と協働した米作り (京丹後市夢まち創り大学)</p>
	<p>○京丹後市夢まち創り大学(事業費：4,193千円) 市内の各地域と大学が連携・協働するフィールドワークなどの実践的な活動を支援し、地域の産品を用いた商品開発、イベントやワークショップの企画・運営等を通し、地域課題の解決や地域の活性化を図る。</p> <p>→京丹後市夢まち創り大学運営補助金 1,878千円 バス運転委託料 1,380千円 燃料費 565千円 ほか</p>			事業スケジュール	<p>○未来チャレンジ交流センター「roots」 →随時、高校生の相談に対応。</p> <p>○京丹後市夢まち創り大学 →令和8年3月 活動大学募集 4月以降 各大学活動 7月 総会</p>	

分野	教育ほか	担当部署	教育委員会事務局 教育総務課	令和8年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	3,060千円 (3,060千円)
目的	<p>京都府立丹後緑風高等学校（網野学舎）で全国部活動特別入学選抜が実施された。このため、京都府外の遠方から入学する生徒の下宿等（下宿、寮及びアパート等）に係る経済的負担を軽減するため、当該経費の一部を支援することで生徒の就学支援をはじめ、地域で培われたスポーツ風土を生かした部活動を応援することで人材の育成及び市内の高等学校の存続発展と地域の活性化に資することを目的とする。</p>				
事業概要・主な経費	<p>【支援内容】 下宿費等の賃借料の2分の1以内の額（千円未満の端数は切り捨てし、月額2万円上限）を、正規の修業年限（3年間）について支援する。</p> <p>【対象者の要件】</p> <ol style="list-style-type: none"> 京都府外の都道府県からの入学生徒の保護者に支援する。 入学後、生徒は京丹後市の住民基本台帳に登録され、現に居住し、就学すること。 入学後、生徒は指定された部活動（レスリング部）に加入すること。 また、申請時には、学校長の証明を添えること。 令和8年度の募集人員は、6人以内とする。 <p>【全国部活動特別入学選抜入学生の状況】</p> <p>令和6年度入学生 1人 令和7年度入学生 6人</p>				<p>事業スケジュール</p> <p>令和7年8月 令和8年度京都府立高等学校第1学年生徒募集定員等、京都府立公立高等学校入学選抜要項周知、公表開始</p> <p>令和8年2月 入学者選抜試験</p> <p>4月 入学後、交付申請書提出、第2学年及び第3学年交付申請書提出（R6、R7年度交付決定者） 年3回補助金交付（8月、12月、4月）</p>

分野	教育	担当部署	教育委員会事務局 教育総務課	令和8年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	795千円 (795千円)	
目的	令和6年8月頃から事業を実施開始。低所得子育て世帯（住民税非課税世帯）のこどもの学習機会を確保するため、受験料の補助を行うことで、大学等進学に向けた支援を行うことを目的とする。					
事業概要・主な経費	<p>【支援内容】 学校教育法に規定する大学、短期大学、専門職大学、専修学校(専門課程又は一般課程に限る。)、各種学校(同報第1条、第124条、第134条)を受検する方の保護者を対象に受験料(大学等を受験する際に必要な費用(受験料))を一人53,000円を上限に補助する。</p> <p>【対象の要件】 申請年度の末日において20歳未満の受験生の保護者等で、下記①～④のいずれにも該当すること ①受験生及び保護者等が同一の世帯に属していること ②申請年度において、世帯を構成する者のいずれもが住民税非課税である世帯であること ③世帯を構成する者のいずれもが本市に納入すべき市税等を滞納していないこと ④申請日において1年以上継続して京丹後市の住民基本台帳に記録されていること</p> <p>【対象者の状況】 令和6年度認定者：5名(2名非該当は含まない) 令和7年度認定者：2名(1名非該当は含まない) ※R7.12.31時点</p> <p>【支援の内容の見込み】 大学等受験料 53,000円×15人</p>			事業スケジュール	<p>令和8年7月頃 募集開始 市内高校3校への広報、HPや広報京丹後等での広報</p> <p>令和8年12月頃 再度上記方法等で広報</p> <p>令和9年3月末 募集終了 (※8月～3月末まで随時募集)</p>	

分野	スポーツ 文化	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	令和8年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	998千円 (998千円)
目的	<p>各種の文化・スポーツにおいて、国際大会及び全国大会へ出場する児童・生徒に激励金を交付することに加え、国際大会出場する児童・生徒に対して、懸垂幕を作製・設置することにより功績を称えとともに、ジュニアアスリートの競技力向上や広報誌等による情報発信によって競技人口の拡大及び市のスポーツ振興を図ることを目的とする。</p>				
事業概要・主な経費	<p>○対象者 市内に住所を有している小中学校及び高校の児童・生徒</p> <p>○対象となる大会 【スポーツ激励金】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.全国高等学校総合体育大会・全国高等学校定時制通信制体育大会 2.文部科学省、(公財)日本体育協会または加盟競技団体等が主催、所管、後援する全国大会 3.文部科学省等、(公財)日本オリンピック委員会が派遣する国内・外で開催される国際大会 等 <p>【文化活動激励金】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.文部科学省、文化庁等国の行政機関が主催又は共催する全国大会 2.国が所管する公益法人が主催又は共催する全国大会 等 <p>※予選会又は選考会を経ずに出場できる大会を除く</p> <p>○激励金額 (800千円)</p> <p>国際大会 1人につき30,000円</p> <p>全国大会 1人につき10,000円(団体競技は1団体上限30,000円)</p> <p>○過年度実績</p> <p>令和7年度 国際大会 7人、全国大会56人、計650,000円 (1月21日現在)</p> <p>令和6年度 国際大会10人、全国大会45人、計710,000円</p> <p>令和5年度 国際大会 9人、全国大会64人、計870,000円</p> <p>○懸垂幕作製費 (198千円)</p> <p>国際大会出場者に対して、懸垂幕を作製・設置を行う 国際大会出場者10人分(198,000円)</p>				 <p>世界大会・全国大会出場激励会(7/17)</p> <p>事業スケジュール</p> <p>4月 学校宛て対象者照会</p> <p>7月 夏の大会等出場者激励会開催及び激励金交付</p> <p>その後も大会出場決定の都度、激励会の開催及び激励金の交付を行う。</p> <p>国際大会出場者に対して、懸垂幕作製・設置を都度行う。 14</p>

No10 京丹後市文化芸術振興計画及び文化庁移転に伴う 文化芸術推進事業

事業提案様式

分野	文化	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	令和8年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	3,210千円 (3,210千円)
目的	<p>本市文化芸術振興条例に基づき策定した「京丹後市文化芸術振興計画」では、『文化芸術を楽しむ 人が輝く京丹後～はぐくむ、つなぐ、いかす“日本のふるさと丹後”の文化を次世代へ～』を理念とし、本市の豊かな文化的資源を継承・活用して、市民が文化芸術に親しみ、愛着や誇りを感じられる文化芸術のまちづくりを進めます。</p> <p>この理念を実現するために定めた6つの基本方針に沿って、文化芸術活動機会の確保や文化的資源の継承、文化芸術関連団体の振興や人材育成、情報発信などの事業に取り組み、まち全体で文化芸術を楽しむ気運の醸成につなげます。</p>				
事業概要・主な経費	<p>1「京丹後アートフェスティバル2026」の開催</p> <p>市民が多様な文化芸術に触れ、そこでの学びや体験を通して、創作や表現することの楽しみを体得できる機会を提供するため、一定期間をフェスティバルとして開催する。2023から3年の取り組みを経て、2026以降は「民間との連携」「地域資源を活用した芸術表現による実装」「移住を見据えた市外若年層へのアプローチ」を新たに掲げ、京丹後らしい文化芸術のありかたを継続的に考えていく機会とする。</p> <p>主催のプログラムとして、「みるプログラム（鑑賞）」では、当初から好評を博しているARTMAPを制作。丹後の特色を生かしたオリジナルのマップとし、市外でも積極的に配架を行う。また丹後ゆかりのクリエイターを紹介する「Tango Creator's Exhibition」では、久美浜町に拠点を置き、近年活躍が目覚ましいフレスコ画の作家・川田知志を紹介する。そのほか、質の高い鑑賞の機会増やすため、民間の文化施設との連携を予定している。</p> <p>「知るプログラム（体験）」では、これまで行ってきた地域資源×アートの連続ワークショップをより市民が参加しやすいよう、講師が地域へ赴くアウトリーチのかたちで実施をする。また本市の特徴である「地場産業」「民俗芸能・文化財」「健康長寿」をテーマに、各地から講師を迎え、クリエイティブな視点から「100年後の文化、100年後の丹後を考える」勉強会を開催する。</p> <p>■事業費3,010千円（基金充当予定額3,010千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みるプログラム」 2,192千円 （報償費（謝金）224千円、需用費216千円、委託料1,752千円） ・「知るプログラム」 818千円 （報償費（謝金）260千円、需用費470千円、委託料88千円） 				 <p>1「京丹後アートフェスティバル2026」プログラムイメージ</p> <p>2丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会による「TANGOまるっぽ美術館」</p>
	<p>2丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会補助金</p> <p>障害がある方たちへの市民の理解醸成といきいき暮らせるまちづくりにつなげることを目的に、障害がある方の絵画等アート作品を市内各所で展示する「TANGOまるっぽ美術館」を開催する同実行委員会に対し経費に対し助成する。</p> <p>■補助金200千円（基金充当予定額200千円） （対象経費内訳：会場費30千円、チラシ印刷費20千円、作家謝礼110千円、講師謝礼40千円）</p>				<p>事業スケジュール</p> <p>1「京丹後アートフェスティバル2026」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月 広報連携およびプロポーザル公募 7月 ワークショップ参加者募集 8月 ARTMAP配架 9月～12月 アートフェスティバル開催 <p>2丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月～ 展覧会企画、作家の選定 8月～ 広報物制作 9～11月頃 展覧会・イベント

分野	社会教育	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	令和8年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	3,107千円 (1,253千円)
目的	<p>人生100年時代を見据え、市民一人一人が生涯を通じて学ぶことのできる環境の整備、学習の機会を提供し、リスキリング（新たな学び直し）の推進に寄与する。</p> <p>京丹後市民大学を通じて、地域理解やコミュニティづくり等、市民の方の自主的な活動につなげるきっかけづくりの場を提供する。</p>				
事業概要・主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ● 講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状理解や、生きがいづくり、健康づくり等につながる内容を開催。 ・オンラインでの参加申し込みや、質問の受付を実施する。 ・各地域公民館単位で行う参加型、体験型講座を実施する。 ・危険予測教育機器を使用した体験型の安全運転講座を実施する。 ● 受講対象者 京丹後市在住の概ね18歳以上の方 ● 令和8年度 各地域公民館合同で合同講座を実施（3回程度開催予定） 各地域公民館単位での参加型、体験型の講座を実施 ■ 事業費 3,107千円（基金充当予定額 1,253千円） <ul style="list-style-type: none"> ・講師謝金 2,250千円 （合同講座 396千円、各地域公民館講座 1,854千円） ※参加型、体験型は参加者より参加費を別途徴収予定 ・旅費 4千円（館外講座の職員旅費） ・消耗品費 370千円（広報紙、講座資料等） ・燃料費 21千円（マイクロバス燃料） ・委託料 462千円（研修業務委託料380千円、バス運転委託料82千円） 			 <p style="text-align: center;">有機農業講座</p>  <p style="text-align: center;">歩こう会</p>  <p style="text-align: center;">絵手紙講座</p>	
	事業スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ● 合同講座 年3回程度の実施 ● 各地域公民館単位で行う参加型、体験型講座 春頃から各地域公民館で、4～8講座を19回～80回程度開催予定。 開催時期、開催回数については、各地域公民館によって異なる。 			

分野	スポーツ	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	令和8年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	3,434千円 (3,434千円)
目的	スポーツ活動を通じて、本市の青少年の心身の健全育成を推進するとともに、スポーツに親しむ機会の充実に資することを目的に活動をする団体を支援する				
事業概要・主な経費	<ul style="list-style-type: none"> ●活動補助金対象となる団体 京丹後市青少年スポーツ協会 ・加盟教室数59教室 (野球10、バレーボール9、バスケットボール6、サッカー5、空手道6、陸上5、剣道及び柔道6、テニス・バドミントン5、その他7) ●団体の主な活動 <ol style="list-style-type: none"> 1.加盟団体の育成及び支援 <ul style="list-style-type: none"> ・補助金の交付 ・募集チラシ作成・配布 2.加盟団体指導者の研修及び交流 <ul style="list-style-type: none"> ・3役会の開催(令和7年度4回予定) ・役員会の開催(令和7年度2回予定) ・研修会等の開催(令和7年度5回予定) 食育講習会(6月)、普通救命講習(6月) 指導者意見交流会(11月)、パラスポーツ体験会(12月) 指導者講習会(2月末予定) ■事業費3,434千円(基金充当予定額3,434千円) <ul style="list-style-type: none"> ・団体活動補助金3,186千円(月額4,500円×12月×教室数) ・事務費68千円(消耗品費) ・事業費180千円(講師謝金160千円、消耗品費20千円) 			 <p>←食育講習会</p>	 <p>↑ 普通救命講習会</p>
	 <p>←指導者意見交流会</p>	<p>事業スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> 4月頃 対象団体へ照会 4月 総会 活動補助金の交付決定 5月～3月 研修会等開催 2月 教室募集チラシ作成・発行 加盟団体活動助成金の交付 			

分野	社会教育	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	令和8年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	1,219千円 (1,219千円)	
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・児童合唱団補助金：市内に存在する児童生徒を対象に活動する合唱団が行う事業を支援し、もって青少年の健全育成と豊かな情操を育む。 ・青少年健全育成活動費補助金：青少年健全育成会の自主的な活動を支援し、もって社会教育の振興、発展を図る。 ・子ども教室活動補助金：心豊かでたくましい子どもを社会全体で育む。 					
事業概要・主な経費	<p>●団体の主な活動</p> <p>1.児童合唱団</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1回の練習、各イベントへの参加等 (大宮児童合唱団、網野グリーンクワイア、久美浜児童合唱団) <p>2.青少年健全育成会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動（令和7年度実績：カヌー体験教室、漁業体験・食育体験等） ・あいさつ運動（令和7年度実績：市内全中学校・高等学校で実施 参加人数合計434人） ・夏の安全パトロール（令和7年度実績：間人みなと祭り・毘沙門祭・千日会観光祭で実施 71人（参加人数）） ・青少年健全育成・家庭教育講演会（令和7年度実績：京丹後教育フォーラム（共催）約●●●人（参加者数）） <p>3.地域子ども教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の協力を得て様々な体験活動、地域住民との交流活動等の事業を行う。 ・京丹後市内の小中学校区単位で、地域の中に子どもたちの安心・安全な居場所を設け、放課後、休日等に年間を通して活動 (活動教室数：峰山町域1、大宮町域1、久美浜町域3) <p>■事業費1,219千円（基金充当予定額1,219千円）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.児童合唱団活動補助金 319千円（1団体100千円+在籍人数×1千円） 2.青少年健全育成活動補助金 400千円 3.地域子ども教室活動補助金 500千円（1団体100千円×5団体） 				 <p>カヌー体験教室 実施イメージ</p>  <p>あいさつ運動 実施イメージ</p>  <p>青少年健全育成・家庭教育講演会 実施イメージ</p>  <p>地域子ども教室 実施イメージ</p>	<p>事業スケジュール</p> <p>4月頃 対象団体へ照会 5月～7月頃 活動補助金の交付決定</p>

分野	スポーツ	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	令和8年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	300千円 (238千円)
目的	スポーツの基礎となる陸上競技の機会の提供、また、市民のスポーツ実施率向上、健康づくり及び体力づくりの向上、市のスポーツ振興に寄与することを目的とする。				
事業概要・主な経費	<p>○主催 京丹後市・京丹後市教育委員会</p> <p>○主管 北丹陸上競技協会</p> <p>○日時 令和7年7月6日(日) 午前9時00分受付(午前10時30分競技開始)</p> <p>○会場 峰山途中ヶ丘公園 京丹後はごろも陸上競技場</p> <p>○参加資格 小学生以上で京丹後市に住所がある者、又は在学・在勤であること。</p> <p>(1) 公認競技の部に参加する者は、2025年度において日本陸上競技連盟、学生陸上競技連盟、高等学校体育連盟、中学校体育連盟のいずれかに登録している者であること。</p> <p>(2) 車いす競技の部に限り、住所が京丹後市以外であっても出場することができる。</p> <p>(3) 車いす競技は、健常者であっても出場することができる。</p> <p>○種目</p> <p>(1) 一般競技の部(11種目・男女別) 60m、100m、800m、1500m、3000m 4×100mR、混合4×100mR、走幅跳、砲丸投、やり投 ジャベリックボール投</p> <p>(2) 公認競技の部(8種目・男女別) 100m、800m、1500m、3000m 4×100mR、走幅跳、砲丸投、やり投</p> <p>(3) 車いす競技の部(2種目・男女別) 60m、100m、1500m、混合4×100mR</p> <p>○定員 250名</p> <p>○参加料 参加料は、1人あたり以下のとおりとする。 中学生以下：無料 高校生以上：500円</p>				
		事業スケジュール	<p>4月中旬 主管団体との会議</p> <p>5月中旬 エントリー開始</p> <p>6月中旬 エントリー締切</p> <p>7月上旬 京丹後市民陸上記録会</p>		

分野	スポーツ	担当部署	教育委員会事務局 生涯学習課	令和8年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	1,114千円 (1,114千円)
目的	青少年の健全育成とスポーツの普及と技術力向上、また、正しいルール・マナーの習得や相互の親睦を図り次代を担う心豊かな人づくりを推進することを目的とする。				
事業概要・主な経費	<p>○ジュニアカヌースプリント大会（年2回開催） 開催日：春季（5月24日）、秋季（10月18日） 会 場：久美浜湾カヌー競技場 参加資格：小・中学生 R7実績：春季（小・10人、中・33人） 秋季（小・13人、中・25人） 運営委託料：924,000円（462,000円×2回）</p> <p>○北近畿中学生ソフトテニス大会 開催日：6月1日 会 場：久美浜中央運動公園テニスコート 参加資格：京都府北部地域又は兵庫県但馬地域に在住し、同一所属学校で構成された中学生チーム R7実績：男子33ペア（市内14ペア）、女子34ペア（市内13ペア） 大会費用：43,000円</p> <p>○京丹後市長杯争奪中学生野球大会 開催日：5月31日～6月1日 会 場：京丹後夢球場 参加資格：京丹後市内の中学校 R7実績：峰山、大宮、網野、弥栄、久美浜 開催委託料：100,000円</p> <p>○京丹後市はしうど杯卓球選手権大会 開催日：12月6日 会 場：京丹後市丹後社会体育館 参加資格：宮津市以北2市2町の中学校の卓球部に所属する1・2年生 R7実績：男子63人（市内31人）、女子38人（市内17人） 大会費用：47,000円</p>				 <p>事業スケジュール</p> <p>○ジュニアカヌースプリント大会春季（5月下旬） 募集開始（4月下旬）、募集締切（5月中旬）</p> <p>○ジュニアカヌースプリント大会秋季（10月下旬） 募集開始（9月下旬）、募集締切（10月中旬）</p> <p>○北近畿中学生ソフトテニス大会（6月上旬） 募集開始（4月中旬）、募集締切（5月中旬）</p> <p>○京丹後市長杯争奪中学生野球大会（5月下旬）</p> <p>○京丹後市はしうど杯卓球選手権大会（12月上旬） 募集開始（10月中旬）、募集締切（11月中旬）</p>

分野	教育	担当部署	市民環境部 市民課	令和8年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	301千円 (150千円)
目的	<p>将来、DV加害者にも被害者にもならないよう、デートDVおよび性に関する正しい知識と理解を深め、相談に繋ぐきっかけとする。また、性別役割分担意識の解消や多様性、男女平等について学ぶ機会とし、将来、家庭を持ったり、共同生活を送る上で必要となる対話の重要性の理解を深め、相互理解力、協働性を育成することを目的とする。さらに、対等な人間関係を築く力や暴力の発生を防ぐ判断力、必要時に相談できる力を身につけることで、将来の社会的自立に向けたキャリア教育につなげる。</p>				
事業概要・主な経費	<p>○デートDV防止啓発講座 130千円(充・65千円) これまで市内6中学校の2～3年生を対象に講座を実施してきた。講座の実施を高校生にも拡大し、さらに多くの若者がデートDVや性についての正しい知識と理解を深めるための機会を提供する。講座での学びを通して、将来、DVの加害者にも被害者にもならない人材を育成するとともに、万が一被害に遭った場合に適切に相談につなげる力を身につけることを目指す。</p> <p>対 象：中学生及び高校生、教職員、保護者 主な経費：講師派遣委託料</p> <p>○育児カードゲーム活用講座 171千円(充・85千円) 育児カードゲーム「カジークジー」京丹後版を活用した講座を実施し、家庭内における育児・家事をテーマに性別役割分担意識に捉われぬ、家事育児の分担について学ぶ機会とし、将来のキャリア形成について考えるきっかけとする。また、家事育児の分担を疑似体験するなかで多様性への認識、相互理解、協働性を育成することを旨とする。</p> <p>対 象：高校生をはじめとした幅広い世代の市民 主な経費：ファシリテーター派遣委託料</p>				<p>○デートDV防止啓発講座</p>   <p>○育児カードゲーム活用講座</p>   <p>事業スケジュール</p> <p>○デートDV防止啓発講座の開催 令和8年11月～令和9年1月(中学校) 令和8年10月～令和9年3月(高校)</p> <p>○育児カードゲーム活用講座の開催 令和8年5月～令和9年3月(高校) 令和8年6月～(地域等)</p>

No17 こどもの居場所・遊びを通じた学びの基盤づくり推進事業

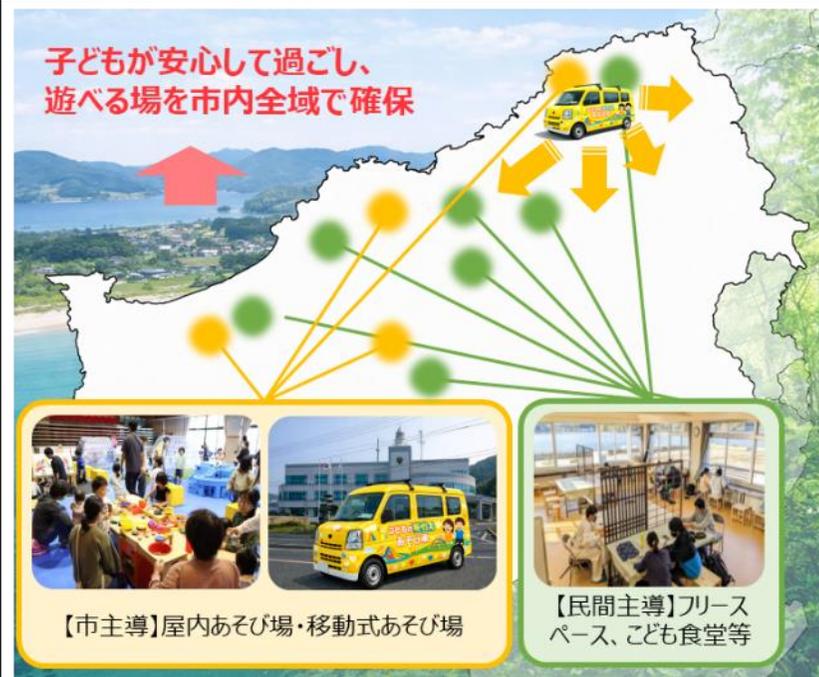
分野	教育・人材育成	担当部署	こども部こども未来課	令和8年度予算計上予定額 (基金充当予定額)	25,436千円 (11,288千円)
----	---------	------	------------	---------------------------	------------------------

目的 すべての子どもが天候や家庭環境に左右されず、安心して過ごし、遊びを通じて学び、成長できる場を確保することを目的に、既存施設を活用した屋内あそび場の整備と移動式あそび場の導入、地域団体等に対する居場所づくりの支援を一体的に推進する。

事業概要・主な経費

(1) こどものあそび場設置事業

概要	既存公共施設を活用し、全天候型の屋内あそび場を整備するとともに、市内各地に出張する移動式のあそび場を導入
開設場所	①峰山総合福祉センター西館 1F 執務スペース ②網野庁舎ら・ぼーと 2F 執務スペース ③久美浜庁舎2F 大会議室 ④丹後庁舎2F 執務スペース (常設+移動式)
主な対象	市内在住の乳幼児～小学校低学年 (大人同伴必須)
開設期間	令和8年8月～
開設日時	土曜日・日曜日・祝日 10時～16時
利用料	無料 (市外利用は原則不可※里帰り等の一定居住者は可)
事業費	21,116千円 (遊具リース料8,316千円、運営委託料7,927千円、消耗品費3,970千円、パンフレット印刷費308千円 他)
運営	委託



(2) こどもの居場所づくり支援補助金 (子育て環境整備応援ポイント補助金の補助区分を変更)

概要	地域におけるこどもの居場所・あそび場づくりを促進するための補助金を創設
対象事業	市内で子ども食堂、リースペース、あそび場等の開設・運営を行う事業
対象者	補助対象事業を実施する団体
補助額等	補助率10/10 新規・拡充費：上限300千円 運営費：上限240千円または「開設日数×10千円」のいずれか少ない額
事業費	4,320千円 (300千円×8件、240千円×8件)

事業スケジュール

- (1) こどもの屋内あそび場設置事業
 - 4月～6月 開設準備 (備品手配、業者選定等)
 - 8月～ 屋内あそび場開設
- (2) こどもの居場所づくり支援補助金
 - 4月～ 実施団体公募 (随時)

こどもの屋内あそび場設置事業 各あそび場の位置付け

峰山総合福祉センター

都市拠点公共施設を
見据えたモデル拠点



- ✓ インクルーシブ遊具の導入、クールダウンスペースの設置により、年齢や特性を問わず誰もが利用できる拠点に
- ✓ 2階の貸館施設等で行われるイベントとも連携
- ✓ 月1回程度の平日開設により、こども部との連携機能を検証

網野庁舎ら・ぽーと

図書館を活かした「遊びと
学びがつながる」拠点



- ✓ 創造力、表現力を育み、発達を引き出す遊具構成
- ✓ 部屋分けにより、静、動を切り替えやすいゾーニング
- ✓ 定時の読み聞かせ、おはなし会など図書館活動との連携により、遊びの延長で本に親しむ最初の一歩を実現

久美浜庁舎

地域コミュニティと協働
する交流型拠点



- ✓ 地域コミュニティ組織が企画、運営を受託
- ✓ 基本的な遊具に加え、図書室との連携、地域の大人が教える体験・交流型の遊びを提供
- ✓ こども、地域のニーズに応じてゾーニングや遊びの内容を柔軟に変更

丹後庁舎+移動式

「動くあそび場」で地域を
つなぐハイブリット型拠点



- ✓ 丹後庁舎の空きスペースを常設拠点としつつ、遊具を積んだプレイカーで地域の要請に応じて出張
- ✓ 公民館等の屋内に加え、公園等での屋外にも対応できる遊具構成
- ✓ 地域イベント等とも連携し、広域、点在地域におけるあそび場不足を補完

単に同一機能を分散配置するのではなく、それぞれ異なる役割を担うことで
市全体として屋内あそび場の機能充実を図る

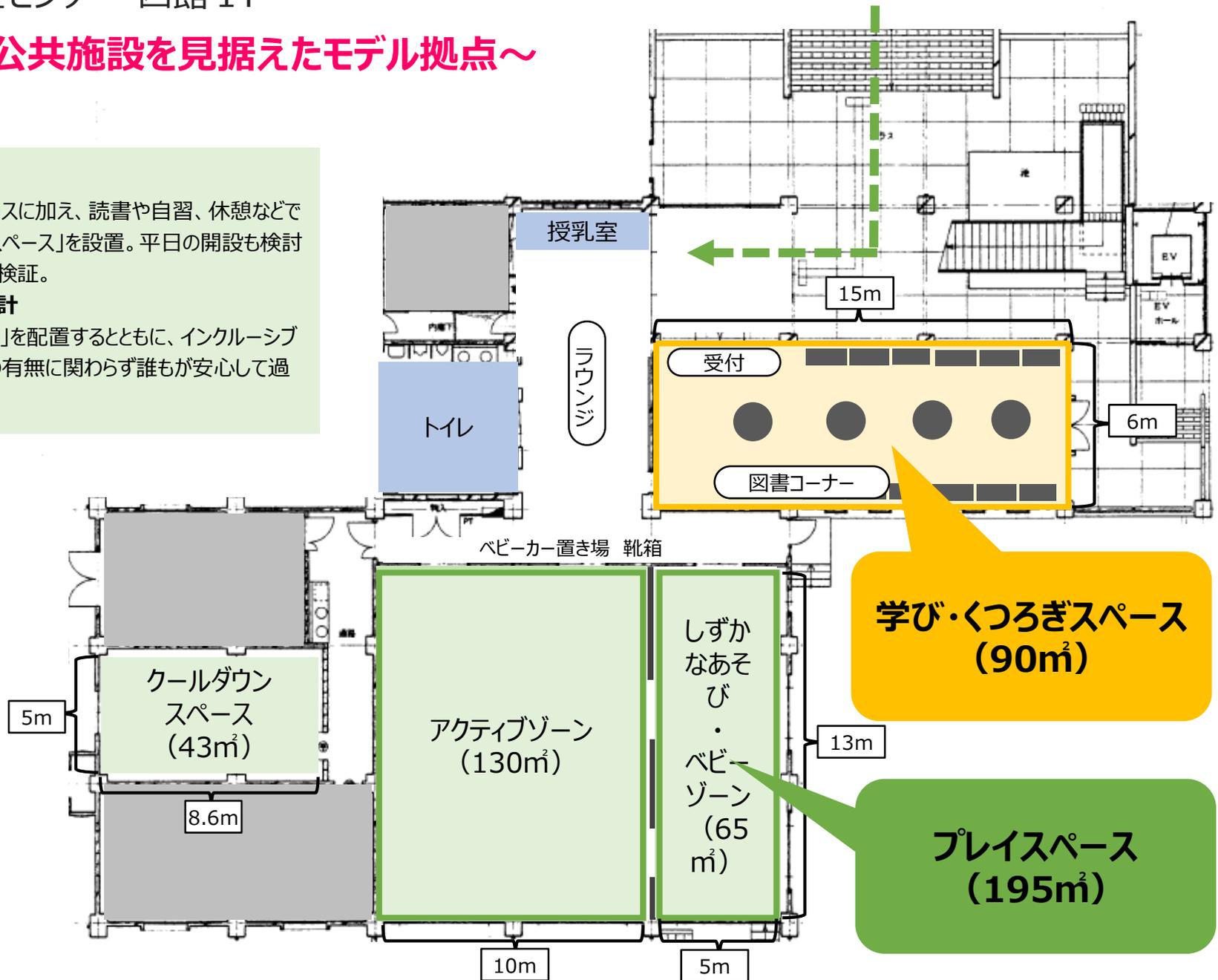
～都市拠点公共施設を見据えたモデル拠点～

■多機能性の確保

195㎡のプレイスペースに加え、読書や自習、休憩などで使える「学び・くつろぎスペース」を設置。平日の開設も検討し、こども部との接続も検証。

■インクルーシブな設計

「クールダウンスペース」を配置するとともに、インクルーシブ遊具を導入し、障害の有無に関わらず誰もが安心して過ごせる設計。



学び・くつろぎスペース
(90㎡)

プレイスペース
(195㎡)

網野庁舎 ら・ぽーと2F

～図書館を活かした「遊びと学びがつながる」拠点～

■明確なゾーニング

アクティブゾーンとベビーゾーンを明確に分離。年齢差による接触の不安を解消しつつ、乳幼児親子が気兼ねなく利用できる環境を整備。

■図書館との相乗効果

図書館と隣接する強みを活かし、遊びの合間に読み聞かせや調べものができる回遊性を生み出し、子どもの知的好奇心を刺激。学びの拠点として、図書館、遊び場相互の利用促進を図る。



プレイスペース
(193㎡)

久美浜庁舎 2F 大会議室

～地域コミュニティと協働する交流型拠点～

■フレキシブルな空間設計

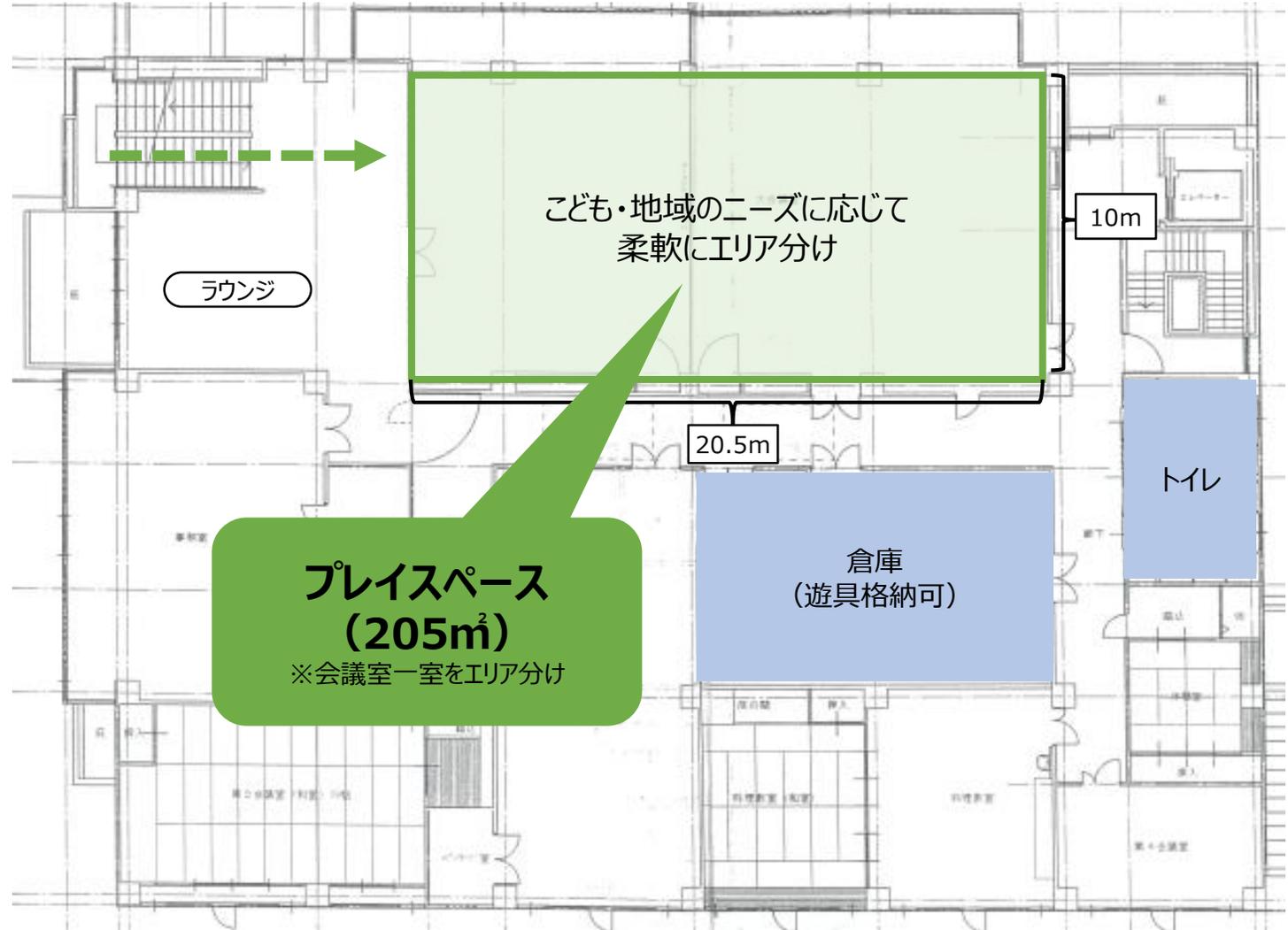
205㎡の会議室を可動式の什器やマットでエリア分け。利用人数やイベントの内容に応じて柔軟にレイアウト変更が可能。

■多世代交流の促進

地域コミュニティによる運営拠点とすることで、地域イベントとの連携等を通じて多世代交流を促進



久美浜庁舎 1Fにある久美浜図書館



丹後庁舎 2F

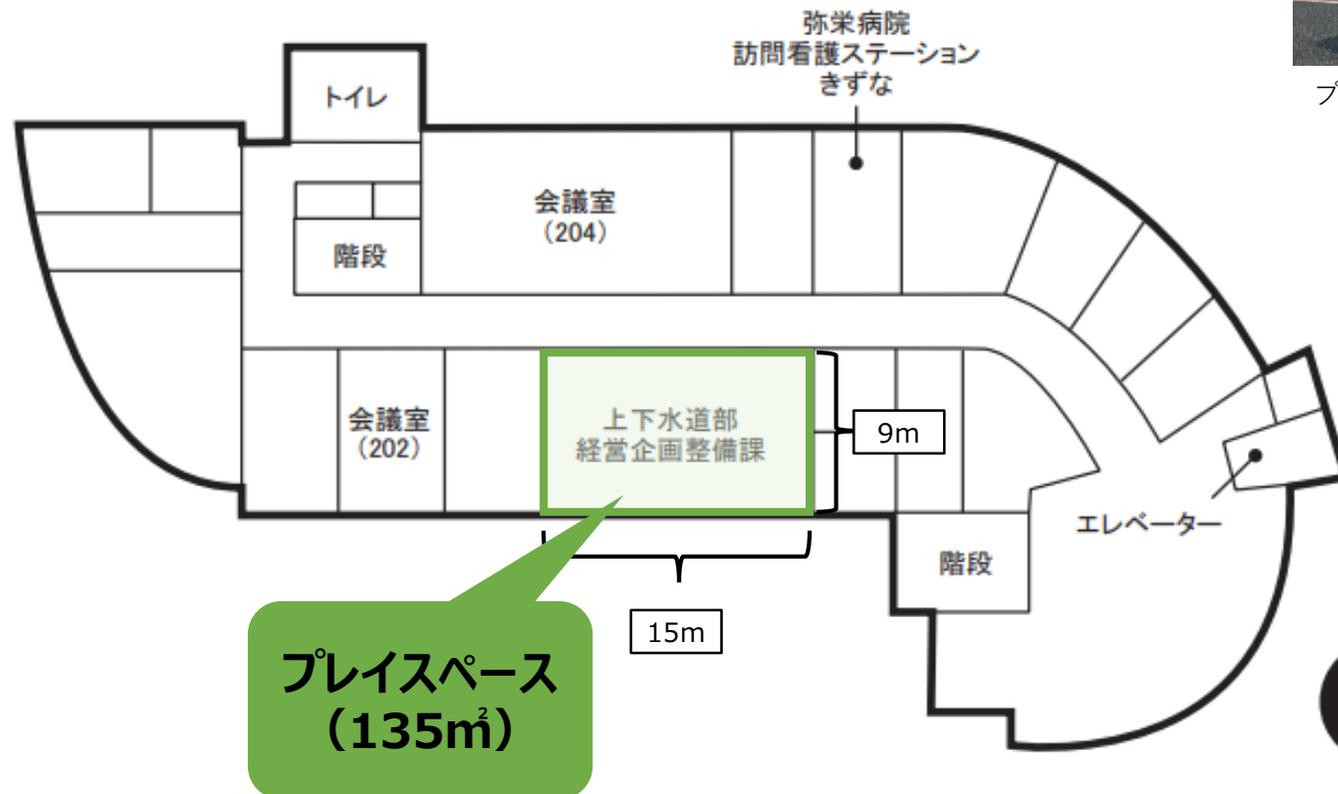
～「動くあそび場」で地域をつなぐハイブリット型拠点～

■ハイブリット運用

プレイスペースを維持しつつ、移動式あそび場（プレイカー）の拠点として位置づけ

■点在地域へのリーチ

庁舎内に遊具や資機材をストックし、ここから市内各所に出向く体制を構築し。外遊びを含め、地域のニーズにあわせて遊具を選定し多様なニーズに対応。



プレイカーのイメージ



丹後庁舎 3Fにある丹後図書室